

前年 11 月の全社安全会議を第 1 回として、今年度から全社安全会議を年 2 回定期的に行うことになりました。安全会議では毎回、講師を招いた講義を盛り込み、様々な方向から安全に対する視点を持ち、安全運転の重要性の確認と気持ちを新たに締め直して事故防止につなげようとするものです。

乗務員の士気が上がるよう、燃費向上した車両を表彰する燃費コンテストを半期ごとに、無事故表彰を年 1 回開催することにもなりました。今回も多くの乗務員が表彰され、今後も燃費向上に努めよう、無事故無違反の安全運転に努めようという空気が感じられました。

**MS&AD** インターリスク総研株式会社より上席コンサルタントの松尾誠太郎氏をお招きし、「事故、ヒヤリ・ハット事例の確認と対策に向けて」の講義を受けました。

○実際の事故映像を見ながら事故発生による影響を説明○社会問題化している様々な交通事故例○多数の死傷者を出す重大事故、過労運転事故による運行管理者の逮捕○運転中のスマホ操作による会社への信用不安○事故を起こすことは、当事者だけでなく、組織にも多大な影響を与えること○近年の事故発生傾向の確認○全国の人身事故は、高齢者の交通事故死者数が占める割合が増加している○歩行者や自転車が交錯している交差点周辺においての交通事故が多発している（事故全体の 54%）○交差点では通常より速度を落とし危険予測を心がける○周囲の状況が常に変化していることを意識し、資格の確認、前方だけでなく後方、巻き込みも注意する○見通しの悪い交差点では、「多段階停止」を徹底する○特に夜間の歩行者は車両から非常に見えにくいことを意識することが大事○昼夜問わず歩行者の動向には十分注意すること○交差点では見通しがよくても油断せず、「だろう」ではなく「かもしれない」運転を意識することが大切○経験したヒヤリ・ハットはその日のうちに報告○指差呼称を徹底する

安田安全統括部長からは平成 29 年度の事故報告、H30 年度の運輸安全マネジメント等について報告がありました。

○平成 29 年度事故件数、アルコール違反件数発表○平成 30 年度運輸安全マネジメントについて（年間事故件数目標）○平成 30 年度年間教育予定について○平成 30 年度事故実績発表

無事故表彰は 14 名に授与

○10 年以上無事故 3 名○5 年以上 10 年以下無事故 11 名○入社 5 年以上の永年表彰 6 名

燃費コンテストは車種別のトップを表彰（全車種での MVP も表彰）

○対象車は、燃費と、燃費向上率から選定

### 会議風景

